■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
1	実施方針	-						用語の定義	「不可抗力」の事例として「疫病」という記載があります。不可抗力には新型コロナウイルス感染症も含まれると理解してよろしいでしょうか。	契約締結時点において、事業者に見込み可能性が生じているものは、不可抗力に該当しません。
2	実施方針	-						用語の定義 事業者	事業者とは汚泥処理施設整備事業建設JVにあっては、汚泥処理施設整備事業を実施する共同企業体の全ての企業をいい、消化ガス利活用事業JVにあっては、消化ガス利活用事業を実施する共同企業体の全ての企業という理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
3	実施方針	1	第1	3				事業目的	供用開始時期の前倒しは、評価対象となりますでしょうか。また、評価対象となる場合どのように評価頂けるのでしょうか。	落札者決定基準の詳細については、入札説明書等で示します。
4	実施方針	1	第1	4	(2)	(ア)		事業計画認定	消化ガス買取価格の前提である売電単価は、令和5年度の調達価格を採用することによろしいでしょうか。 FIT制度上、例年であれば、毎年度12月までに国に事業計画認定の申請を行う必要がありますが、申請には、東北電力様との接続契約締結および仙台市様との消化ガスの売買契約締結が必要であるため、令和4年度の事業計画認定を受けることはできないと考えます。	実施方針の1頁の「第1 4.(2)(ア)」に示すとおり、令和4年度中に速やかに東北電力と協議を開始し、国の事業計画認定を令和6年3月31日までに受けることを求めています。 なお、事業者判断により、先行して協議を開始し、令和4年度中に事業計画認定を受けることを妨げるものではありません。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
5	実施方針	1	第1	4	(2)	(ア)		事業期間に係る制約条件	FIPについて、経済産業省の動向を踏まえた上で、その認否を判断すると記載がありますが、その判断はいつ、誰が行うのでしょうか。	入札公告までに、市が判断する予定です。
6	実施方針	1	第1	4	(2)	(イ)		事業期間に係る制約条件	「事業者の提案により、設計・建設期間を短縮することを可能とする。」と記載されておりますが、短縮期間の割合に比例した評価になると考えて宜しいのでしょうか。	落札者決定基準の詳細については、入札説明書等で示します。
7	実施方針	1	第1	4	(2)	(イ)		東北電力との協議	仙台市様にて、系統空き容量の事前確認を行って頂けないでしょうか。	東北電力ネットワークへの事前相談に対する回答は、[連系制限なし]となっております。詳細は、事業者にて発電設備容量等を決定した後、東北電力ネットワークと協議願います。
8	実施方針	1	第1	4	(2)	(イ)		事業期間に係る制約条件	事業者提案で設計・建設期間を短縮した場合、その短縮した工期から完工が遅れた場合はペナルティは生じるのでしょうか。	ご理解のとおりです。
9	実施方針	1	第1	4	(2)	(イ)		事業期間に係る制約条件	事業者の提案により、設計・建設期間を短縮し、消化タンク立ち上げ及び運営・維持管理期間の開始時期が早まった場合は、この早まった時期を供用開始かつ、発電施設の運営・維持管理期間の開始時期と置き換えると解釈してよろしいのでしょうか。	実施方針の1頁の「第1 4.(2)(イ)」に示すとおり、設計・建設期間を短縮したことにより、消化タンク立ち上げ及び運営・維持管理期間の開始時期が早まった場合、運営・維持管理期間については、その早まった開始時期から20年間となります。 (例：1ヵ月早まった場合は、運営・維持管理期間は、令和9年9月～令和29年8月となります。)
10	実施方針	2	第1	6				事業者の責任	「そのために必要な汚泥濃縮施設、汚泥消化施設及び発電施設の処理能力及び性能は、事業者の責任により確保すること。」とありますが、汚泥濃縮施設、汚泥消化施設の運営・維持管理は市の実施であることから、汚泥濃縮施設、汚泥消化施設に関する事業者の責任は、各施設の設計及び建設の範囲と考えてよろしいのでしょうか。	ご理解のとおりですが、要求水準書(案)に示す条件の範囲内において、市が通常の運転管理を行った場合は、事業者の提案する性能が満足できる施設の建設を求めます。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
11	実施方針	3	第1	8				市の収入	市は消化ガス利活用事業のための敷地確保を行うと記載がありますが、この敷地の借用料は無償と考えてよろしいでしょうか。	下水道条例に基づく占用許可を申請してください。また、占用料の支払が必要です。詳細については、実施方針（修正版）を参照ください。
12	実施方針	3	第1	8				市の収入	事業者は売電による収入の一部を毎年度仙台市に支払うものとし、納付金額は入札参加者が提案した額とありますが、提案の額について評価対象事項となるのでしょうか。	落札者決定基準の詳細については、入札説明書等で示します。
13	実施方針	3	第1	8				市の収入	市に納付する消化ガス1Nm3あたりの価格は、入札参加者の提案となっておりますが、価格は年度単位もしくは20年の平均価格どちらの提示でも可能と考えて宜しいでしょうか。	事業期間中、固定の単価と考えています。
14	実施方針	3	第1	8				市の収入	消化ガス利活用事業に必要な敷地は無償で貸与されるものと考えてよろしいでしょうか。	No.11の回答を参照ください。
15	実施方針	3	第1	10				消化ガス利活用事業の期間終了時の措置	原状回復について、本工事で杭を打った場合は杭も抜く必要があるでしょうか。	本事業のうち、「消化ガス利活用事業」として実施する発電施設（施設、設備及び付属品等）の全ての撤去を基本とします。
16	実施方針	3	第1	10				消化ガス利活用事業の期間終了時の措置	事業期間終了後6か月以内に現状回復し事業用地を引き渡すことを基本としますが、原状回復とはすべてのガス発電施設を撤去するという事でしょうか。	No.15の回答を参照下さい。
17	実施方針	4	第2	1				事業者の募集及び選定に関する基本的な考え方	価格評価について、適正な最低制限価格の設定がなされているとの理解でよろしいでしょうか。	落札者決定基準の詳細については、入札説明書等で示します。
18	実施方針	4	第2	2				選定の手順及びスケジュール	スケジュールには記載がありませんが、技術提案書や見積設計図書の内容について、プレゼンテーション等の対応を課すご予定はありますでしょうか。	選定の手順及びスケジュールの詳細については、入札説明書等で示します。
19	実施方針	4	第2	2				選定の手順及びスケジュール	令和4年8月下旬の「技術提案書、要求水準に対する見積設計図書」に関して、入札もこのタイミングで行うとの理解で宜しいでしょうか。	選定の手順及びスケジュールの詳細については、入札説明書等で示します。
20	実施方針	4	第2	2				選定の手順及びスケジュール	入札予定日をご教示ください。	選定の手順及びスケジュールの詳細については、入札説明書等で示します。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
21	実施方針	4	第2	2				選定の手順及びスケジュール	令和4年8月下旬の「技術提案書、要求水準書に対する見積設計図書の受付期限」に関して、「見積設計図書」の内訳をご教示願います。	見積様式の詳細については、入札説明書等で示します。
22	実施方針	4	第2	2				選定の手順及びスケジュール	令和4年8月下旬が「技術提案書、要求水準書に対する見積設計図書の受付期限」となっておりますが、汚泥処理施設整備事業（DB方式）の設計・建設費および消化ガス利活用事業（民設民営方式）による市への納付金額の見積額の提示時期は、令和4年8月下旬を予定しています。	汚泥処理施設整備事業（DB方式）の設計・建設費および消化ガス利活用事業（民設民営方式）による市への納付金額の見積額の提示時期は、令和4年8月下旬を予定しています。選定の手順及びスケジュールの詳細については、入札説明書等で示します。
23	実施方針	5	第2	3	(2)			質問への回答	不開示が妥当と判断した場合は公表しない、と記載されていますが、事業者から質問回答の不開示を要望することは可能でしょうか。	様式の「※記入上の注意」に、特殊な技術、ノウハウに密接に関連する質問については、個別回答希望と記載しております。
24	実施方針	6	第2	4	(1)	(カ)	ア)	応募者の構成等	消化ガス利活用事業JVの場合、代表企業の出資比率は構成する企業のうち最大でなければならないとあります。この場合JV形態は甲型、代表企業が比率最大であれば他の構成員比率は任意と考えてよろしいでしょうか。	消化ガス利活用事業JVの形態は、甲型に限定するものではありません。また、代表企業の出資比率を最大とすれば、他の構成員比率は任意と考えて、問題ありません。
25	実施方針	8	第2	4	(3)	(イ)		汚泥処理施設整備事業にあたる企業の備えるべき参加資格	汚泥処理施設整備事業建設JVにおいては事業団における本工事に係るJVとして認定を受けること、と記載されていますが、いつまでに、どのように申請すれば宜しいでしょうか。	日本下水道事業団における本工事に係る特定建設共同企業体として競争参加申請書（以下「事前申請書」という。）の提出以前に特定建設共同企業体協定を締結する必要があります。
26	実施方針	9	第2	4	(3)	(オ)	4.1.1.2	競争参加資格 (経営事項評価点数)	1,100点以上と記載されていますが、対象の工種は、機械器具設置または水道施設、かつ土木一式及び建築一式、かつ電気という理解で宜しいでしょうか。	対象となる建設業の許可の業種は、機械器具設置または水道施設になります。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
27	実施方針	9	第2	4	(3)	(オ)	4.4	競争参加資格（特定建設共同企業体（乙型）・代表者	<p>特定建設共同企業体(乙型)・代表者の施工内容に土木工事・建築工事・電気工事が含まれている場合、該当する工事内容に必要な建設業の許可を得ている事、及び該当する工事種別のJS入札参加申請済みである事が資格要件であると理解してよろしいでしょうか。</p> <p>また、特定建設共同企業体(乙型)・代表者には特定建設共同企業体・代表者以外に求めている以下の資格要件は不問と理解してよろしいでしょうか。</p> <p>○土木工事・建築工事：格付、経営事項評価点数、事業所・優遇措置の要否、事業所所在地</p> <p>○電気工事：等級区分、事業所所在地</p>	ご理解のとおりです。
28	実施方針	9	第2	4	(3)	(オ)	4.5.1.2	競争参加資格（特定建設共同企業体（乙型）・代表者以外	<p>格付（対象業種・等級）・経営審査事項評価点数の要件として「一般土木工事・A等級又はB等級・要件なし」とありますが、<u>要件なし</u>は、経営審査事項評価点数を指すとの理解でよろしいでしょうか。</p>	ご理解のとおりです。
29	実施方針	9	第2	4	(3)	(オ)	4.5.2.2	競争参加資格（特定建設共同企業体（乙型）・代表者以外	<p>格付（対象業種・等級）・経営審査事項評価点数の要件として「建築工事・A等級、B等級又はC等級・要件なし」とありますが、<u>要件なし</u>は、経営審査事項評価点数を指すとの理解でよろしいでしょうか。</p>	ご理解のとおりです。
30	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)		競争参加資格（特記事項：抜粋） 特定建設共同企業体（乙型）・代表者以外	<p>乙型JVで、建設工事部分（JVサブ）に複数企業を入れたJV（甲型）とする場合、建設工事のサブ業者についても、記載された会社の工事実績・配置技術者の施工経験が必要となるのでしょうか。</p>	建設工事部分（JVサブ）に複数企業を入れたJV（甲型）とすることは認めません。
31	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)	5	競争参加資格（施工実績）	<p>施工実績工事の完成年月日の規定はございますでしょうか。</p>	平成19年度以降に、施工し引き渡した実績となります。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
32	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)	5.1	競争参加資格（施工実績）	元請実績として全体計画固形物量（汚泥量）が3.5に記載された今回対象計画固形物量（汚泥量）の1/2以上で、下水道法上の処理場に係る機械設備工事（「汚泥消化タンク設備」を含むものに限る）又は同上（「薬注・脱水設備」を含むものに限る）との記載があります。 上記に加え、「汚泥濃縮設備」の実績も施工実績として認めていただくことは可能でしょうか。	「汚泥濃縮設備」の実績は、施工実績として認めません。
33	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)	5.1	競争参加資格（施工実績）	実績となる工事内容に「汚泥消化タンク設備」を含むものとの記述がありますが、汚泥消化タンク設備とは汚泥消化タンク本体の機械設備工事が含まれていればよいとの理解でよろしいでしょうか。	「汚泥消化タンク設備」は、今回工事と同等の設備が含まれる必要があります。ただし、鋼板製消化タンク本体は除くものとします。
34	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)	5.1.1	①機械設備工事の下水道施設での元請実績	「今回対象計画固形物量1.325t-DS/時の施工実績」ではなく、「全体計画固形物量1.325t-DS/時の下水処理場における機械設備工事（「汚泥消化タンク設備」を含む。処理量不問）の施工実績」という理解で宜しいでしょうか。	ご理解の通りです。
35	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)	5.1.1	①機械設備工事の下水道施設での元請実績	「汚泥消化タンク設備」とは「消化槽攪拌機を含む工事」との理解で宜しいでしょうか。	「汚泥消化タンク設備」は、今回工事と同等の設備が含まれる必要があります。ただし、鋼板製消化タンク本体は除くものとします。
36	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)	5.1.1	①機械設備工事の下水道施設での元請実績	「今回対象汚泥量の上限は60m ³ /hr」とはどういうことでしょうか。ご教示願います。	施工実績の汚泥量が、60m ³ /hrとなります。
37	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)	5.3	競争参加資格（施工実績）	元請実績として全体計画固形物量（汚泥量）が3.5に記載された今回対象計画固形物量（汚泥量）の1/2以上で、下水道法上の処理場に係る機械設備工事（「汚泥消化タンク設備」を含むものに限る）又は同上（「薬注・脱水設備」を含むものに限る）との記載があります。 上記に加え、「汚泥濃縮設備」の実績も施工実績として認めていただくことは可能でしょうか。	「汚泥濃縮設備」の実績は、施工実績として認めません。
38	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)	5.3	競争参加資格（施工実績）	実績となる工事内容に「汚泥消化タンク設備」を含むものとの記述がありますが、汚泥消化タンク設備とは汚泥消化タンク本体の機械設備工事が含まれていればよいとの理解でよろしいでしょうか。	「汚泥消化タンク設備」は、今回工事と同等の設備が含まれる必要があります。ただし、鋼板製消化タンク本体は除くものとします。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
39	実施方針	11	第2	4	(3)	(オ)	6	競争参加資格(配置予定技術者)	6.5～6.8は代表者以外が行うことに読めるが、代表者が機械・電気を担当する場合は、代表者が配置するという理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
40	実施方針	11	第2	4	(3)	(オ)	6	競争参加資格(配置予定技術者)	配置技術者の工事経験について、対象実績工事の完成年月日の規定はございますでしょうか。	平成19年度以降に、施工し引き渡した実績となります。
41	実施方針	11	第2	4	(3)	(オ)	6	競争参加資格(配置予定技術者)	各項において記載のある、地方公共団体等が発注した「下水道類似施設」には「ごみ焼却施設」も含まれると理解してよろしいでしょうか。	ごみ焼却施設は含まれません。
42	実施方針	10	第2	4	(3)	(オ)	6.1	競争参加資格(配置予定技術者)	現場工事経験と設計経験となる工事内容に、『下水道法上の終末処理場に係る機械設備工事内容(「汚泥消化タンク設備」を含むものに限る)又は機械設備工事「薬注・脱水設備」を含むものに限る)で下水道法上の終末処理場又は地方公共団体等が発注した下水道類似施設』での経験が求められております。 上記に加え、機械設備工事(「汚泥濃縮設備」を含むもの)での実績も現場工事経験と設計経験としてお認めいただくことは可能でしょうか。	「汚泥濃縮設備」の実績は、現場工事経験と設計経験として認めません。
43	実施方針	11	第2	4	(3)	(オ)	6.1.2	競争参加資格(配置予定技術者)	設計担当技術者の設計経験(電気設備工事)に、今回対象の電気設備工事内容が含まれている必要はないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
44	実施方針	11	第2	4	(3)	(オ)	6.1.4	競争参加資格(配置予定技術者)	電気設備工事担当技術者の現場工事経験に、今回対象の電気設備工事内容が含まれている必要はないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
45	実施方針	11	第2	4	(3)	(オ)	6.1.4	競争参加資格(配置予定技術者)	施工内容に土木工事と建築工事の両方が含まれる場合、「土木工事」の担当技術者と「建築工事」の担当技術者は、兼任可能と理解してよろしいでしょうか。	配置予定期間が重複しない場合は、兼任可能です。
46	実施方針	11	第2	4	(3)	(オ)	6.1.4.2	建築工事担当技術者の現場工事経験	「下水道法の～における建築工事及び公共建築物等の新築・」とあるが 又は の理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
47	実施方針	12	第2	4	(3)	(オ)	6.4	競争参加資格（配置予定技術者）	現場工事経験と設計経験となる工事内容に、『下水道法上の終末処理場に係る機械設備工事内容（「汚泥消化タンク設備」を含むものに限る）又は機械設備工事「薬注・脱水設備」を含むものに限る）で下水道法上の終末処理場又は地方公共団体等が発注した下水道類似施設』での経験が求められております。 上記に加え、機械設備工事（「汚泥濃縮設備」を含むもの）での実績も現場工事経験と設計経験としてお認めいただくことは可能でしょうか。	「汚泥濃縮設備」の実績は、現場工事経験と設計経験として認めません。
48	実施方針	12	第2	4	(3)	(オ)	6.4	競争参加資格（配置予定技術者）	実績となる工事内容に「汚泥消化タンク設備」を含むものとの記述がありますが、汚泥消化タンク設備とは汚泥消化タンク本体の機械設備工事が含まれていればよいとの理解でよろしいでしょうか。	「汚泥消化タンク設備」は、今回工事と同等の設備が含まれる必要があります。ただし、鋼板製消化タンク本体は除くものとします。
49	実施方針	12	第2	4	(3)	(オ)	6.4.2	競争参加資格（配置予定技術者）	設計担当技術者の設計経験（電気設備工事）に、今回対象の電気設備工事内容が含まれている必要はないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
50	実施方針	12	第2	4	(3)	(オ)	6.5	特定建設企業体（乙型・代表者以外（土木工事を施工する者）	申請時に提出した土木配置技術者と同等の資格・実績を所有した者であれば、担当工事着手前に土木配置技術者の変更は可能であると考えてよろしいでしょうか。	土木配置技術者の変更は、原則として認められません。
51	実施方針	12	第2	4	(3)	(オ)	6.6	特定建設企業体（乙型・代表者以外（建築工事を施工する者）	申請時に提出した建築配置技術者と同等の資格・実績を所有した者であれば、担当工事着手前に建築配置技術者の変更は可能であると考えてよろしいでしょうか。	建築配置技術者の変更は、原則として認められません。
52	実施方針	12	第2	4	(3)	(オ)	6.5	特定建設共同企業体（乙型）・代表者以外（土木工事を施工する者）	前項（6.4等）には当該工種の設計実績を求めています。6.5建築工事では設計実務経験の有無の記載がありません。参加資格に必要無しとしてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
53	実施方針	12	第2	4	(3)	(オ)	6.6	特定建設共同企業体（乙型）・代表者以外（建築工事を施工する者）	上記、建築工事についてご教授願います。	ご理解のとおりです。
54	実施方針	13	第2	4	(3)	(オ)	6.7	競争参加資格（配置技術者）	実績となる工事内容に「汚泥消化タンク設備」を含むものとの記述がありますが、汚泥消化タンク設備とは汚泥消化タンク本体の機械設備工事が含まれていればよいとの理解でよろしいでしょうか。	「汚泥消化タンク設備」は、今回工事と同等の設備が含まれる必要があります。ただし、鋼板製消化タンク本体は除くものとします。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
55	実施方針	13	第2	4	(3)	(オ)	6.8	競争参加資格（配置予定技術者）	電気設備工事担当技術者の現場工事経験に、今回対象の電気設備工事内容が含まれている必要はないとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
56	実施方針	14	第2	4	(4)			消化ガス利活用事業にあたる企業の備えるべき参加資格	発電施設工事を実施する企業に係る4(4)(ア)の要件は、消化ガス利活用事業JV、もしくはSPCの代表企業ではなく、構成員が満たせばよいと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおり、4(4)(ア)の要件を1社で全て満たす企業を含むこととしており、当該企業は、代表企業ではなく、構成員であっても問題ありません。
57	実施方針	14	第2	4	(4)			消化ガス利活用事業にあたる企業の備えるべき参加資格	運営維持管理事業を実施する企業に係る4(4)(イ)の要件は、消化ガス利活用事業JV、もしくはSPCの代表企業ではなく、構成員が満たせばよいと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおり、4(4)(イ)の要件を1社で全て満たす企業を含むこととしており、当該企業は、代表企業ではなく、構成員であっても問題ありません。
58	実施方針	14	第2	4	(4)	(ア)	ウ	発電施設工事を実施する企業	「対象工事に対応する工種」とは、水処理施設工事又はその他機械器具設置工事という理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
59	実施方針	14	第2	4	(4)	(ア)	ウ	発電施設工事を実施する企業の参加資格	「対象工事に対応する工種について～」とありますが、「対象工事」とは汚泥処理施設整備事業工事及び発電施設工事のことと推察しますが、「対応する工種」を具体的にご教示いただけますようお願い致します。	No.58の回答を参照ください。
60	実施方針	15	第2	5	(2)			評価内容	落札者決定基準によるとありますが、技術提案のテーマ・評価項目・評価方法をご教示ください。	落札者決定基準の詳細については、入札説明書等で示します。
61	実施方針	15	第2	5	(5)			落札者の決定	入札価格とは汚泥処理施設整備事業（DB方式）の価格と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
62	実施方針	15	第2	5	(5)			落札者の決定	技術評価事項には消化ガス利活用事業（民設民営方式）についても評価対象になるのでしょうか、又その場合、評価基準は公表されるのでしょうか。	落札者決定基準の詳細については、入札説明書等で示します。
63	実施方針	16	第2	6	(2)			S P C の設立	落札者は、消化ガス利活用事業に関し、SPCを設立する場合、基本協定締結後速やかに基本契約の締結までに会社法に定める株式会社としてSPCを仙台市内に設立し、とありますが、SPCの設立可否は事業者の任意によるとの認識でよろしいでしょうか。	ご理解のとおり、SPCの設立可否は、事業者の任意によるものとなります。
64	実施方針	17	第3	2	(2)	(ア)		契約保証金	「以下の保証を付さなければならない」という理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。 詳細については、実施方針（修正版）を参照ください。
65	実施方針	18	第3	2	(3)	(ア)		汚泥処理施設整備事業の保険	「事業者は工事目的物及び工事材料を火災保険等に付する場合」とあるが、付さなくてもよいという理解で宜しいでしょうか。	事業者は工事目的物及び工事材料を火災保険等を付す必要があります。
66	実施方針	28		別紙2			5	汚泥処理施設整備事業に関するリスク分担に関する基本的な考え方	5項住民対応「上記以外に関する地域住民の要望、訴訟等に関するもの」が事業者負担となっていますが、事業者が実施する業務に関する住民対策（施工及び維持管理(発電設備)時の振動・騒音・悪臭、事業者による車両出入への対策）を事業者負担、その他については発注者負担としていただけないでしょうか。	リスク分担に示すとおり、事業者負担とします。
67	実施方針	28		別紙2			11, 33	事業の中止・遅延	「上記以外の事業の中止・遅延によるもの」は事業者がリスク負担者となっていますが、「不可抗力による事業の中止・遅延によるもの」は含まれないと考えてよろしいでしょうか。	原因が不可抗力であれば、不可抗力のリスク分担になります。
68	実施方針	28		別紙2			17	汚泥処理施設整備事業に関するリスク分担	設計業務に関する要求水準書の未達に関するリスク負担者が事業者となっていますが、「発注者の指示、提示条件の不備・変更によるもの」や「設計条件等が要求水準書の記載内容と異なる場合」は除くとの理解で宜しいでしょうか。	民間事業者に予見可能性が無く、民間事業者が自己の善管注意義務を果たしていると明らかにした場合は、ご理解のとおりです。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
69	実施方針	28		別紙2			23	汚泥処理施設整備事業に関するリスク分担	建設業務に関する要求水準書の未達に関するリスク負担者が事業者となっていますが、「発注者の指示、提示条件の不備・変更によるもの」や「設計条件等が要求水準書の記載内容と異なる場合」は除くとの理解で宜しいでしょうか。	民間事業者に見込み可能性がなく、民間事業者が自己の善管注意義務を果たしていると明らかにした場合は、ご理解のとおりです。
70	実施方針	29		別紙2			39	消化ガス利活用事業におけるリスク分担	設計業務に関する要求水準書の未達に関するリスク負担者が事業者となっていますが、「発注者の指示、提示条件の不備・変更によるもの」や「設計条件等が要求水準書の記載内容と異なる場合」は除くとの理解で宜しいでしょうか。	民間事業者に見込み可能性がなく、民間事業者が自己の善管注意義務を果たしていると明らかにした場合は、ご理解のとおりです。
71	実施方針	29		別紙2			45	消化ガス利活用事業におけるリスク分担	建設業務に関する要求水準書の未達に関するリスク負担者が事業者となっていますが、「発注者の指示、提示条件の不備・変更によるもの」や「設計条件等が要求水準書の記載内容と異なる場合」は除くとの理解で宜しいでしょうか。	民間事業者に見込み可能性がなく、民間事業者が自己の善管注意義務を果たしていると明らかにした場合は、ご理解のとおりです。
72	実施方針	29		別紙2			48	消化ガス利活用事業におけるリスク分担	運営・維持管理段階リスクにおいて、不可抗力（地震・津波等）による施設損傷の扱いについてご教示ください。	原因が不可抗力であれば、不可抗力のリスク分担で対応されます。なお、発電施設は民設民営であるため、不可抗力のリスクは、事業者の負担となります。リスク分担No.34（不可抗力）の"△"については、No.77の回答を参照ください。
73	実施方針	28		別紙2			18	汚泥処理施設整備事業に関するリスク分担に関する基本的な考え方	建設段階リスク・用地で発注者が提示した情報からは予見不可能に判断される地盤地質等に関するものは発注者のリスクとありますが、提示の条件と相違があり特殊工事が必要となった場合はこれに該当すると考えてよろしいでしょうか。	事業者の見込み可能性の有無で判断されます。
74	実施方針	28		別紙2			18	汚泥処理施設整備事業に関するリスク分担に関する基本的な考え方	建設段階リスク・用地で発注者が提示した情報からは埋設物に関するものは発注者のリスクとありますが、ここで埋設物とは、要求水準書 別紙8-1にて地下残置物一覧として記載されたもの以外を発注者のリスク分担としているという理解で良いでしょうか。	事業者の見込み可能性の有無で判断されます。
75	実施方針	28		別紙2			10	汚泥処理施設整備事業に関するリスク分担に関する基本的な考え方	物価変動のリスク内容の費用の増減における一定の範囲に、工事請負契約書第25条第6項（インフレスライド条項） 残工事費の1.0%も適用と考えるとよろしいでしょうか。	インフレスライド条項の適用の場合は、1.5%の足切りはありません。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
76	実施方針	28		別紙2			10	リスク分担	「共通事項リスク_10_物価変動」について、費用の増減を算出する際の基準となる設計・建設費について、事業者が入札時に提出した設計・建設費を基準とするという理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
77	実施方針	29		別紙2				別紙2 リスク分担に関する基本的な考え方 No.34 不可抗力	「天災・暴動等の不可抗力」の際の負担者として発注者負担「△」となっておりますが、これは具体的にどのような負担を想定していらっしゃいますでしょうか。	No.47（市が供給する消化ガスの変動）を参照する意味となっております。また、当該リスクについては、協議によるものであるため、「△」という表記としています。
78	実施方針	30		別紙2			※6	消化ガス利活用事業におけるリスク分担	買取単価を見直す消化ガス量に関して、「要求水準書に規定された市から提供を保証する消化ガス量を下回った場合」とありますが、「汚泥処理施設整備事業」で事業者が設置した設備の責任ではない事由により、消化ガス量が低減した場合は、事業者が提案した消化ガス量を下回った場合に、買取単価の見直しがなされるとの理解で宜しいでしょうか。	要求水準書に規定された市から提供を保証する消化ガス量を下回った場合において、「汚泥処理施設整備事業」で事業者が設置した設備の責任ではない事由により、消化ガス量が低減した場合は、「要求水準書に規定された市から提供を保証する消化ガス量」を下回った場合に、買取単価を協議により見直すことで、その場合に生じた事業者の損失の一部を市が負担する予定です。 詳細については、入札説明書等で示します。
79	実施方針	30		別紙2				別紙2 リスク分担に関する基本的な考え方 No.47 市が供給する消化ガスの変動	※6にて「市から提供を保証する消化ガス量を下回った場合…その場合に生じた事業者の損失の一部を市が負担」とあります。 保証ガス量を下回った場合の「一部負担」とは具体的にどのような負担を想定していらっしゃいますでしょうか。	詳細については、入札説明書等で示します。
80	実施方針	31		別紙3				対象施設の建設予定地	本図に示す「本工事範囲」が要求水準書でお示しの「本事業用地」に該当すると考えてよろしいでしょうか。	要求水準書（案）に示す「本事業用地」は、汚泥濃縮施設、汚泥消化施設及び発電施設の建設用地を示し、「本工事範囲」は、本事業用地の他、既存施設内の配管等の工事範囲までを示します。
81	実施方針	32		別紙4				汚泥処理基本フロー	水管橋への配管添架工事が考えられますが、基本設計時の加重計算書は開示されるものと考えてよろしいでしょうか。	設計段階で、当初計画されていた添架配管と、現在予定されている添架配管の資料を示します。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
82	要求水準書（案）	34	第2	3	(6)			総合試運転	消化汚泥の馴致について、種汚泥の提供が無く、生汚泥と余剰汚泥から消化槽の立ち上げを行うとの理解でよろしいですか？	ご理解のとおりです。
83	要求水準書（案）	2	1	1.2	(2)			現地条件	立地条件において、建物の高さ制限はないものと考えてよろしいでしょうか。	市街化調整区域による高さ制限はありません。ただし、開発前に土地利用調整条例について、開発調整課への確認及び申請が必要となる可能性があります。
84	要求水準書（案）	2	1	1.2	(2)			現地条件	現地条件として、騒音、振動、悪臭については、基準がそれぞれ記載されていますが、大気汚染防止については記載がありません。消化ガス発電設備排ガス規制について、仙台市においては大気汚染防止法の上乗せ基準等はなく、大気汚染防止法に準拠（排ガスNOx600ppm以下）と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりですが、具体的な基準値は、事業者の提案技術によります。詳細は、大気汚染防止法及び市条例等をご確認ください。
85	要求水準書（案）	4	1	1.3	(1)		㊸	用語の定義	不可抗力について、「市と事業団及び事業者のいずれの責めにも帰すことのできない事由を意味し、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、津波、地滑り、落盤、騒乱、暴動、戦争、疫病、第三者の行為その他自然的または人為的な現象のうち通常予見不可能なものをいう。」とされていますが、「通常予見不可能なもの」とは、当事者の合理的な支配が及ばないものをいうとの理解で宜しいでしょうか？	当事者の合理的な支配が及ぶか否かを問わず、事業者の予見可能性の有無で判断されます。
86	要求水準書（案）	4	1	1.3	(2)	1)	①	事業者の業務範囲	支障となる既設地下構造物（埋設物）の撤去を含むとありますが、別紙8で開示された既設構造物資料以外の埋設物がある場合は変更対象と考えてよろしいでしょうか。	事業者の予見可能性の有無で判断されます。
87	要求水準書（案）	4	1	1.3	(2)	2)	⑤	事業者の業務範囲	その他必要な工事として、場内整備（外灯及び配線工事含む）がありますが、フェンス、植栽等基本設計上の場内整備についてご教示ください。	場内配管・配線、場内道路、雨水排水施設、外灯等を想定しており、植栽は想定しておりません。フェンスの設置については、No.228の回答を参照下さい。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
88	要求水準書（案）	4	1	1.3	(2)	3)	①	消化ガスの受入（※）	「①消化ガスの受入」に関して、「※事業者提案による発電設備からの…の条件により、加温に要する消化ガス量を市が優先的に使用する場合があります他…」との記載がありますが、仙台市様で別途消化ガス利用の加温設備を設置され、優先的に使用されとの理解で宜しいでしょうか。また、使用量についてご教示ください。	要求水準書（案）P25 2.2 (1) 1)に示すとおり、事業者にて消化タンク加温設備の設置を行うことを求めています。 なお、使用量については、消化タンクの必要加温熱量によるため、事業者提案によります。
89	要求水準書（案）	5	1	1.3	(2)	3)	⑩	事業者の業務範囲	「周辺住民への対応に関する協力」とありますが、協力する内容をご教示ください。	要求水準書（案）P37 3.2 (8) 2)に示すとおりです。 なお、事業者の業務都合も考慮します。
90	要求水準書（案）	5	1	1.3	(2)	3)	⑪	事業者の業務範囲	「発電施設見学者の対応に関する協力」とありますが、協力する内容をご教示ください。	要求水準書（案）P37 3.2 (8) 1)に示すとおりです。 なお、事業者の業務都合も考慮します。
91	要求水準書（案）	6	1	1.3	(5)		13項	遵守すべき関係法令等	土壤汚染対策法に関して、3,000m ² 以上の土地の形質の変更又は現に有害物質使用特定施設が設置されている土地では900m ² 以上の土地の形質の変更を行う場合には届出を行う必要があり、土壤汚染のおそれがあると認められると、土壤汚染状況調査が必要です。本敷地は土壤汚染のおそれはないものと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
92	要求水準書（案）	7	1	1.3	(5)		38項	遵守すべき関係法令等	「バリアフリー法」および「仙台市ひとにやさしいまちづくり条例」は本工事には適用されないものと考えてよろしいでしょうか。 適用される場合、適用範囲についてご教示ください。車いすで通行できるように整備するため、スロープ、エレベータ、点字ブロック、多目的トイレ、手摺等を設置しなければなりません。非常にコストアップとなる項目であり、用途的に適用されないものと考えております。	発電施設については、見学者に対するバリアフリーに配慮することを求めます。
93	要求水準書（案）	7	1	1.3	(6)			基準及び仕様等	DB案件であり、記載の基準及び仕様等については法令を遵守し、品質を確保することを前提に、あくまでも参考扱いとさせていただきます。 特に必要な基準や上乘せについては「2. 設計・建設に関する要求水準」にてご指定下さい。	要求水準書（案）に示すとおりです。
94	要求水準書（案）	7	1	1.3	(6)	1)	9項	基準及び仕様等	「国土交通大臣官房官庁営繕部監修」「官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準及び同解説（公共建築協会）」について、本事業への適用は対象外と考えてよろしいでしょうか。	No.92の回答を参照下さい。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
95	要求水準書（案）	7	1	1.3	(6)	1)	10項	基準及び仕様等	「石綿含有廃棄物等処理マニュアル」、 「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」に準拠する必要があることとありますが、本工事の解体対象物にはこれらの対象物は含まれないと考えてよろしいでしょうか。 該当する場合はその部位と数量を提示願います。	必要であればアスベスト調査を実施し、アスベストの含有が確認された場合には、適切に処理を行ってください。なお、その場合は、設計変更の対象と考えています。
96	要求水準書（案）	9	1	1.3	(6)	2)		土木・建築工事関係	事業団内部資料の貸与可能時期をご教示下さい。	設計段階において貸与します。
97	要求水準書（案）	10	1	1.3	(7)		③	適用技術	「発電施設については…海外の下水道事業での稼働実績…または国内のバイオガス事業…での稼働実績を有するもの」とあります。 この稼働実績は①同様に「入札公告日において」との認識になりますでしょうか。	ご理解のとおりです。
98	要求水準書（案）	11	1	1.4	(2)			現況フローと現在の運転概要	季節変動に伴う汚泥の状態に応じて、重力濃縮設備の運用を分離濃縮と混合濃縮を切り替えていることがわかりました。別紙5の重力濃縮槽の1次側・2次側の汚泥濃度（濃縮倍率）、SS回収率は年間を通した実績値と理解してよろしいですか？	ご理解のとおりです。
99	要求水準書（案）	11	1	1.4	(2)			現況フローと現在の運転概要	管内閉塞の記述がありますが、濃縮方式の切り替え以外に、配管清掃などの対応をしている内容をご教示ください。	使用を停止している配管を使用し、フラッシングを実施しています。
100	要求水準書（案）	12	1	1.4	(3)			基本フロー	生汚泥・余剰汚泥を全て汚泥濃縮施設で受入れ、濃縮施設投入汚泥の全固形物の半量を消化することを前提とすると記載があります。これは生汚泥・余剰汚泥のそれぞれ半量の固形物を消化するという理解で良いでしょうか。	事業者提案による汚泥濃縮施設の構成によりますが、仮に、生汚泥・余剰汚泥を分離して濃縮する場合、それぞれ半量の固形物を消化することを想定しています。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
101	要求水準書（案）	12	1	1.4	(3)		2項	基本フロー	2項目目の「生污泥・余剰汚泥を全て汚泥濃縮施設で受入れ～（中略）～生污泥のみ、または余剰汚泥のみを消化施設へ投入するフローは認められない」とありますが、既設の5～10月の分離濃縮時期のように、生污泥と余剰汚泥の濃縮設備を分ける場合等、生污泥と余剰汚泥の割合を調整できる場合においても、生污泥と余剰汚泥の固形物量の各半量を消化することとし、意図的に、生污泥と余剰汚泥の比率を変更する等の考え方は認められないとの理解で宜しいでしょうか。	設計・建設の考えとしては、ご理解のとおりです。 No.100の回答も併せて参照下さい。
102	要求水準書（案）	12	1	1.4	(3)		2項	基本フロー	2項目目に「生污泥・余剰汚泥を全て汚泥濃縮施設で受入れ」とありますが、生污泥・余剰汚泥を全て濃縮設備に投入する必要があり、全量もしくは一部汚泥を、濃縮することなく、脱水施設もしくは消化施設に投入することは認められないとの理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
103	要求水準書（案）	12	1	1.4	(3)			基本フロー	本事業で汚泥濃縮施設は全改築となりますが、既設設備からの配管切替に際し、切替時の設備条件等がありましたら、ご教示願います。一方、切替時の設備稼働状況（稼働可能な設備条件）等は提案にて示す事項に含まれるのでしょうか。合わせてご教示願います。	生污泥・余剰汚泥の配管切替時は、長時間の運転停止は困難なため、数時間で切り替え可能な施工を想定して下さい。詳細は、建設段階の協議によります。 提案書に関わる詳細については、入札説明書等で示します。
104	要求水準書（案）	12	1	1.4	(3)			基本フロー	「将来的には全量消化へ移行する計画」とありますが、発電設備運営期間内に全量消化となっても発電に利用する消化ガス量は半量消化の量と考えてよろしいですか（別紙6では全量消化供用開始時期は令和17年度以降を想定）。	本事業において発電施設で利用する消化ガス量は、事業者提案による消化ガス量を原則としますが、全量消化へ移行する際には、増加する消化ガス量の取り扱いについて、協議を求める可能性があります。
105	要求水準書（案）	12	1	1.4	(3)			基本フロー	「将来的には全量消化へ移行する計画」とあります。消化ガス量が全量消化の量を発電に利用可能となる場合、全量使用開始となった時点で発電機を増設することは可能でしょうか。	No.104の回答を参照下さい。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
106	要求水準書（案）	13	1	1.4	(4)			対象汚泥量及び汚泥性状	表2に記載の計画汚泥量と比べて、「別紙4 維持管理データ」の現況の汚泥量が、平均値、最大値共にかなり多い数値となっていますが、今回の施設設計に用いる計画汚泥量は表2の数値を元にするとの理解でよろしいでしょうか。	設計条件は、表2に記載の計画汚泥量としますが、要求水準書（案）P25 2.2 (1) 1)に示すとおり、別紙4に示す 維持管理データにある、生汚泥・余剰汚泥の受け入れ量の変動を考慮した施設とすることを求めています。
107	要求水準書（案）	13	1	1.4	(4)			対象汚泥量及び汚泥性状	「汚泥消化タンクに投入する固形分量は、半量消化供用開始時における全固形物の半量」とありますが、日平均と日最大のどちらの値の定量供給となりますでしょうか。。設備能力は日最大の半量を処理できる能力を有する必要があるとの理解で宜しいでしょうか。	要求水準書（案）P31 2.2 (5)に示すとおり、汚泥消化施設へ投入する汚泥量（固形物量）については、表2に示される日平均汚泥量における全固形物量の半量を常時投入することを想定しています。
108	要求水準書（案）	13	1	1.4	(4)			対象汚泥量及び汚泥性状	表2に示される対象汚泥中には、夾雑物は含まれていないものと考えてよろしいでしょうか。（P14ではし尿・浄化槽汚泥に含まれる夾雑物はない旨の記載があります）	表2に示される対象汚泥は、最初沈殿池・最終沈殿池より直接引き抜いた汚泥であるため、夾雑物の除去処理は行われておりません。
109	要求水準書（案）	13	1	1.4	(4)			対象汚泥量及び汚泥性状	「汚泥消化槽に投入する固形物量は、半量消化供用開始時における全固形物の半量を継続的に消化する。」とあり人口減少リスクを回避されていますが、汚泥消化処理と消化ガス利活用事業の安定性を確保するため、季節変動や天候の変動は未消化ルートで吸収し、消化槽への汚泥投入量を年間を通して固定値とする運用提案は可能ですか？	No.107の回答を参照下さい。
110	要求水準書（案）	13	1	1.4	(4)			対象汚泥量及び汚泥性状 ※別紙6 流入水量・汚泥量の将来予測値	「将来の流入水量や汚泥量を保証するものではない」とありますが、流入水量や汚泥量は将来の消化ガス発電運営に大きく関わるため、ある一定のリスク分界点が設定されるべきと考えます。（要求水準書(案)P31記載の最低保証消化ガス量4,161,000Nm3/年はどのような考え方に基づくガス量設定になりますでしょうか。）	将来の流入水量や汚泥量の変動に関わらず、市から事業者提供を保証する消化ガス量は、4,161,000Nm3/年（修繕による消化タンク停止期間を除く）としてリスク分界点を設定しています。算出根拠については、No.229の回答を参照下さい。
111	要求水準書（案）	13	1	1.4	(4)			対象汚泥量及び汚泥性状	表2に示される対象汚泥量に、し尿・浄化槽汚泥量は不含との理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
112	要求水準書（案）	13	1	1.4	(4)			対象汚泥量及び汚泥性状	表2に示される対象汚泥量及び汚泥性状は、晴天時のものでしょうか。一部合流の処理場につき、雨天時下水に起因する固形物量を加味した汚泥量、性状ではないのでしょうか。	表2に示す対象汚泥量及び汚泥性状は、晴天時のものを示します。雨天時の影響を含む汚泥量等の変動は、別紙4維持管理データに示すとおりです。
113	要求水準書（案）	13	1	1.4	(4)			対象汚泥量及び汚泥性状	「消化タンクに投入する固形物量は、半量消化供用開始時における全固形物量の半量を継続的に消化する」とは、別紙6の半量消化供用開始時の日平均固形物量の半量を計画値とするとの理解でよろしいでしょうか。（実際の事業期間において、例えば実汚泥量に対して上記半量値が60%になった場合、消化処理は60%の汚泥を対象とすると考えてよろしいでしょうか）	No.107の回答を参照下さい。
114	要求水準書（案）	13	1	1.4	(4)	表2		対象汚泥量及び汚泥性状	表2の日最大量よりも、別紙4-25、4-26の引抜データの引抜量が多くなっています。要求される日最大量の値は、何を採用すれば良いかご教示下さい。	No.106の回答を参照下さい。
115	要求水準書（案）	13	1別紙5	1.4	(5)			し尿・浄化槽汚泥の受入れ	現在、南蒲生環境センターからは処理水を受け入れています。今後は前処理したし尿・浄化槽汚泥を直接受入れる計画であると理解します。今回の施設設計では、別紙5の固形物収支図の「し尿処理水」をなくし、新たに「し尿・浄化槽汚泥」として、要求水準で示されている量を、事業者が提案する投入位置で受け入れる条件で収支計算を行うということによろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
116	要求水準書（案）	13	1	1.4	(5)	1)		し尿・浄化槽汚泥の取合い条件	し尿・浄化槽汚泥の受け入れに関して、「圧送管による搬送流量」及び「バキューム車1台分の容量（短時間に一度に投入される流量）」をご教示ください。	要求水準書（案）P13 1.4(5) 2)に示すとおり、し尿・浄化槽汚泥の搬送は、平日の日中で搬送量90m3/日程度を想定しています。バキューム車の場合は、8トンバキューム車を想定しています。
117	要求水準書（案）	13	1	1.4	(5)	1)		取り合い条件	し尿・浄化槽汚泥の受入量を管理するための計測機器（流量計等）は送泥側の南蒲生環境センター側で整備されるとの理解でよろしいですか？	ご理解のとおりです。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
118	要求水準書（案）	13	1	1.4	(5)	1)		取り合い条件	汚泥処理施設整備事業で整備する受入槽に設置される投入管のフランジで取り合うものと理解し、そこまでの圧送管は南蒲生環境センター側で整備されるとの理解でよろしいですか？	ご理解のとおりです。
119	要求水準書（案）	13	1	1.4	(5)	1)		取合い条件	今回事業では、し尿・浄化槽汚泥を受け入れるための圧送管は別途工事となりますが、圧送管径・材質等をご教示ください。また、圧送管の工事時期についてもご教示ください。	し尿・浄化槽汚泥の圧送管径・材質等は現時点では決定していません。工事時期についても決定していませんが、本事業の汚泥消化施設供用開始のタイミングで受入開始を予定しています。
120	要求水準書（案）	13	1	1.4	(5)	1)		し尿・浄化槽汚泥の取合い条件	「バキューム車からの投入も可能な構造」とありますが、条件となる車両情報（積載容量、同時投入車両台数、頻度）、並びにバキューム車からの投入方法（ダンピング or ホースでの自然排出 or 圧送 or その他）をご提示ください。	バキューム車の仕様は、8トン車（全長7,600mm、全幅2,735～2,450mm、全高2,650～2,830mm、車両重量14,350～14,730kg）とし、バキューム車からの搬入を行う場合は、同時搬入台数は1台、その投入方法は車両からの圧送を想定しています。
121	要求水準書（案）	13	1	1.4	(5)	1)		し尿・浄化槽汚泥の取合い条件	し尿・浄化槽汚泥受入槽を汚泥消化施設の一部で代用する場合、し尿・浄化槽汚泥は、半量消化に含まず「生汚泥・余剰汚泥の全固形物の半量+し尿・浄化槽汚泥の全固形物量」が消化対象汚泥になるとの理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
122	要求水準書（案）	14	1	1.4	(5)	2)		し尿・浄化槽汚泥の量・性状	し尿・浄化槽汚泥の汚泥濃度（%）及びVTS/TS（%）をご教示願います。	提示可能なし尿・浄化槽汚泥の性状は、要求水準書（案）表4に示す項目となります。
123	要求水準書（案）	14	1	4	(5)	2)		し尿・浄化槽汚泥の量・性状	搬送量想定として「90m3/日程度」と記載がありますが、表3「し尿・浄化槽汚泥処分量実績」からは最大でも約66m3/日と読み取れます。「90m3/日程度」は、日最大処理量として「90m3/日を処理できるように設備容量を検討すること、との意図と理解して宜しいでしょうか。	し尿・浄化槽汚泥の搬送は、平日の日中で搬送量90m3/日程度を想定しています。
124	要求水準書（案）	14	1	1.4	(5)	2)		量・性状	「南蒲生環境センターからのし尿・浄化槽汚泥の搬送は、平日の日中を想定しており、」とありますが、平日とは月曜日から金曜日（祝日を除く）と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
125	要求水準書（案）	14	1	1.5	(1)			生汚泥・余剰汚泥	生汚泥、余剰汚泥ともに、配管取合点（責任分界点）での流量、圧力をご提示ください。	詳細については、入札説明書等で示します。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
126	要求水準書（案）	15	1	1.5	(2)			濃縮汚泥（未消化濃縮汚泥）	濃縮汚泥移送管の口径は別紙7ではΦ200mmとなっておりますが、提案プロセスによって配管内の流量・流速が異なるため、口径は変更することは可能でしょうか。	事業者提案により、口径を変更することは可能です。ただし、配管閉塞等に留意して、口径を選定して下さい。
127	要求水準書（案）	15	1	1.5	(2)			濃縮汚泥（未消化汚泥）	汚泥処理棟の混合汚泥貯留槽は2槽ありますが、送泥先の自動切換えに必要な自動弁や制御方法の構築は汚泥処理施設整備事業の所掌範囲でしょうか？	自動弁の設置は、本事業（汚泥処理施設整備事業）の所掌範囲としますが、その制御方法の構築（電気工事）は別途工事とします。
128	要求水準書（案）	15	1	1.5	(2)			生汚泥・余剰汚泥	配管取合点から既設汚泥濃縮槽入口までの配管撤去時期については、消化タンク立ち上げ期間でも宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
129	要求水準書（案）	15	1	1.5	(2)			濃縮汚泥（未消化濃縮汚泥）	電気管廊内の責任分界点以降で、不要となる既設生汚泥配管及び余剰管については「本事業にて撤去」とありますが、濃縮汚泥や消化汚泥の移送管としての流用可否についてご教示願います。	電気管廊内の責任分界点以降にある既設生汚泥管及び余剰汚泥管について、濃縮汚泥や消化汚泥の移送管としての流用は認められません。
130	要求水準書（案）	15	1	1.5	(2)			濃縮汚泥（未消化濃縮汚泥）	電気管廊内の責任分界点以降で、不要となる既設生汚泥配管及び余剰管の撤去時期については、消化タンク立ち上げ期間でも宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
131	要求水準書（案）	15	1	1.5	(3)			消化汚泥	消化汚泥移送管の口径は別紙7ではΦ150mmとなっておりますが、提案プロセスによって配管内の流量・流速が異なるため、口径は変更することは可能でしょうか。	事業者提案により、口径を変更することは可能です。ただし、配管閉塞等に留意して、口径を選定して下さい。
132	要求水準書（案）	15	1	1.5	(3)			消化汚泥	汚泥処理棟の混合汚泥貯留槽は2槽ありますが、送泥先の自動切換えに必要な自動弁や制御方法の構築は汚泥処理施設整備事業の所掌範囲でしょうか？	No.127の回答を参照下さい。
133	要求水準書（案）	15	1	1.5	(4)			砂ろ過水	砂ろ過水の塩素濃度をご教示下さい。	分析していないため、提示できる実績データは有りません。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
134	要求水準書（案）	15	1	1.5	(4)			砂ろ過水	砂ろ過水の取り合いは点は、砂ろ過水槽を設置する建屋の出口部分とございますが、そこまでの配管および送水圧は別途工事と考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
135	要求水準書（案）	15	1	1.5	(5)			上水	表6の上水使用量は、発電施設での使用量であり、汚泥濃縮施設建屋の使用量は含まれていないと考えて宜しいでしょうか。	表6の上水使用量は、本事業で建設する汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に供給する上水使用量を示しています。 発電施設で使用する上水の調達については、要求水準書（案）P36 3.2(2)に示すとおりです。
136	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	既存雨水排水施設の現状の余剰能力をご教示下さい。	詳細については、入札説明書等で示します。
137	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	既存雨水排水施設の排水能力をご教示ください。	詳細については、入札説明書等で示します。
138	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	「返流水負荷の影響を、極力抑制するように配慮すること」「汚泥濃縮施設からの返流水は固形物回収率85%以上を確保すること」とありますが、返流水負荷及び固形物回収率に関して、提案により要求水準記載以上の効果が得られる場合、評価していただけるとの理解でよろしいでしょうか。	落札者決定基準の詳細については、入札説明書等で示します。
139	要求水準書（案）	15	1	1.5	(7)			排水	「汚泥濃縮施設からの返流水は固形物回収率85%以上を確保すること」とありますが、機器ごとではなく施設全体で上記の数値を確保すれば問題ありませんでしょうか。	ご理解のとおりです。
140	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	「汚泥濃縮施設からの返流水は固形物回収率85%以上を確保すること」とありますが、晴天時を対象として、また、年間平均値での評価と考えてよろしいでしょうか。	要求水準書（案）P13 1.4 (4)表2に示す対象汚泥量（日最大）に対して満足することを求めます。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
141	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	「本事業用地内の雨水排水は、雨水側溝を整備し、既存雨水排水施設に接続する」とありますが、既存雨水排水施設への「接続位置、流域図、排水能力が分かる計算書」を提示願います。	詳細については、入札説明書等で示します。
142	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	責任分界点での量の制限（●●m ³ /分以下）や、水頭圧の制限（●●kPa以上）はないものと考えてよろしいでしょうか。	プラント系排水について、ご理解のとおりです。雨水排水については、入札説明書等で示します。
143	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	「本事業用地内の雨水排水は、雨水側溝を整備し、既存雨水排水施設に接続する」とありますが、整備範囲は、本事業用地の内、事業者が設備を設置する範囲との理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
144	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	雨水側溝を整備し、既存雨水排水施設に接続するとありますが、計画雨水降雨量と既設雨水排水施設詳細をお示してください。	詳細については、入札説明書等で示します。
145	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	既存施設の雨水排水能力を超過する場合としている能力をお示してください。	詳細については、入札説明書等で示します。
146	要求水準書（案）	16	1	1.5	(7)			排水	貞山運河への接続および放流を行う場合の宮城県河川課との事前協議は市及び事業団で完了済みと考えてよろしいでしょうか。	事前協議は行っておりません。
147	要求水準書（案）	16	1	1.5	(8)			電力	V C Bから本事業で設置する受変電設備間の配線工事は本事業範囲と記載がありますが、電路についても本事業範囲となりますでしょうか。その場合の考え方は、責任分界点までは既存電路、責任分界点以降は本事業範囲となりますでしょうか。既存電路を使用可能な場合、責任分界点までの既設電路の施工図を提示頂けませんでしょうか。	電路についても本事業範囲となります。なお、既存電路の使用も可としますが、詳細については、今後、現地確認の機会を設けますので、現地確認時にご確認下さい。また、既設竣工図はデータで貸与します。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
148	要求水準書（案）	16	1	1.5	(9)			監視制御システムにおける汚泥濃縮施設の監視制御について	要求水準書1.5（9）及び2.2（3）2）に「汚泥濃縮施設および汚泥消化施設の監視制御を既設監視室で行えるように・・・」とあります。既設汚泥濃縮施設は既設監視室2箇所（管理棟、2号焼却炉棟）で監視しています。本項目における【既設監視室】の考え方、位置付けを教えてください。	既設と同様、2箇所（管理棟、2号焼却炉棟）を対象としています。
149	要求水準書（案）	16	1	1.5	(9)			監視制御	「汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設の監視制御を既設監視室にて行えるようにするため、」とありますが、既設監視室の場所を図面でお示し下さい。	No.148の回答を参照下さい。
150	要求水準書（案）	16	1	1.6	(1)			騒音規制基準	敷地境界について、本事業用地と汚泥処理エリアの間にある運河は敷地境界内ですか？敷地境界外ですか？ご教示ください。	敷地境界外になります。
151	要求水準書（案）	16	1	1.6	(1)			騒音規制基準	発電施設を含めて、敷地境界とは南蒲生浄化センターの敷地境界と考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
152	要求水準書（案）	16	1	1.6	1)~(3)			環境への配慮	敷地境界線をご教示ください。水管橋及び河川も敷地内との理解で宜しいでしょうか。	No.150の回答を参照下さい。
153	要求水準書（案）	17	1	1.6	(2)			振動規制基準	発電施設を含めて、敷地境界とは南蒲生浄化センターの敷地境界と考えて宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
154	要求水準書（案）	18	2	2.1	(1)			事前調査	添付の地質調査資料には水処理側のものしかありません。「必要に応じて、自らの責任及び費用において」とありますが、杭基礎を求めているため必須と考えます。地質調査は全て事業者側の責任・負担での実施なのでしょうか。	ご理解のとおりです。
155	要求水準書（案）	18	2	2.1	(1)			設計・建設に関する基本的事項	別紙2の土質調査資料は水処理ゾーンの9か所が示されていますが、本事業用地の土質調査資料の開示は可能でしょうか。	2011年3月11日の東日本大震災以降、本事業用地近傍で行った土質調査は、要求水準書（案）別紙2に示すもので全てです。水処理ゾーン9箇所の他、本事業用地内のH23.B-5ボーリングデータを公表しています。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
156	要求水準書（案）	18	2	2.1	(1)		1項	事前調査	「自らの責任及び費用において本工事に必要な測量調査及び地質調査等を行うこと。」とありますが、事業者にて測量および地質調査を実施し、提示資料と異なる条件が発見された場合は設計変更いただけるものと理解しています。また地下障害物については事前の調査だけでは全てを明らかにすることはできないため、工事に際して地中障害物や土壌汚染等が判明した場合は設計変更いただけるものと理解しています。	事業者の予見可能性で判断されます。
157	要求水準書（案）	18	2	2.1	(2)	1)	(a)	設計に関する一般事項	「支障となる既設地下構造物(埋設物)の撤去」とのことですが、既設地下構造物を残置した状態で施工できる場合（例えば、既設構造物をオールケーシングでくり抜き、新しい杭を施工し、基礎や底盤を構築する）は、新設構造物の下部に残置された状態でもよろしいでしょうか。 また、既設地下構造物を残置することは地盤の安定化を図る観点から、不法投棄にあたらぬものと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。 既存構造物の撤去により水処理施設への影響が懸念されるため、残置と判断しており、不法投棄にはあたらないと考えます。 ただし、既設地下構造物を残置した状態で新設構造物の基礎や底盤の構造的な性能の確保や将来的に沈下等の不具合が発生しないことを検討して設計する必要があります。
158	要求水準書（案）	18	2	2.1	(2)	1)	(b)	発電施設	発電施設にかかる設計図書について、汚泥消化施設との取り合い点以外の箇所については「市の確認を受けること」とあります。 この「確認」において発注者-事業者間で考え方の相違が発生した場合、原則は事業者リスク負担にて事業者の考え方が優先されるとの認識ですが、「確認」において具体的な資料提示想定はありますでしょうか。（発注者・事業者にとって最良の事業運営となるよう設計を進めることは当然ながら大前提となります）	原則はご理解のとおりです。「確認」では、協議資料と経緯の議事録を残すことを意図しています。
159	要求水準書（案）	18	2	2.1	(2)	2)		設計に伴う許認可等	今回は、濃縮施設の全改築に加えて、消化・消化ガス発電施設の新設となりますが、事業者提案により仕様等が決定するため、下水道法事業計画の変更等はどのようにお考えですか。市もしくは事業団での対応と考えてよろしいでしょうか。	本事業とは別途で対応する予定です。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
160	要求水準書（案）	18	2	2.1	(2)	2)		設計に伴う許認可等	「市または事業団が関係機関への申請、報告または届出等を必要とする場合」とありますが、該当する申請、報告、届出を教えてくださいませんか。	事業者の提案技術内容によります。
161	要求水準書（案）	19	2	2.1	(3)	1)		工事の開始	既設建造物の撤去工事について、設計段階からの着手を認められておりますが、撤去工事の施工計画書提出前に、設計に関する指定部分完成検査を完了することというのは矛盾しないのでしょうか。設計に関する指定部分完成検査を完了してからでなければ撤去工事に着手できないのであれば、設計完了後ということになりませんか。	No.162, 163の回答を参照下さい。 なお、一部記載内容を修正予定です。詳細については、入札説明書等で示します。
162	要求水準書（案）	19	2	2.1	(3)	1)		工事の開始	「撤去工事に関わる施工計画書提出前に、設計に関する指定部分完成検査を完了すること。」とありますが、指定部分の工期についてご教示ください。	工期については事業者提案によります。ここでは、撤去工事に先行着手する場合、その設計に関する部分を指定部分とし、施工計画書提出前に、完成検査を完了することを求めています。
163	要求水準書（案）	19	2	2.1	(3)	1)		建設に関する一般事項 工事の開始	既設建造物の撤去工事着手は設計に関する指定部分完成検査を完了した後とありますが、指定部分とは既設地下構造物撤去の設計と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
164	要求水準書（案）	19	2	2.1	(3)	2)		責任施工	「事業者は、本要求水準書で明示されていない事項であっても、要求水準を確保するために必要なものは、事業者負担で建設すること」とありますが、予見が困難であった場合はこの限りではないと考えて宜しいでしょうか。	ご質問の例外が認められる場合は、事業者に予見可能性がない場合に限ります。
165	要求水準書（案）	21	2	2.1	(3)	8)		安全管理及び交通管理	入場口には必要に応じて、交通誘導員を配置し、円滑な車両誘導とありますが、入場口への市の維持管理車両等の車両規格、搬入頻度をご教示ください。又、当該事業以外の関連工事のご計画はございますでしょうか。	全ての維持管理車両について把握できているものではないため、提示できる情報はありません。 関連工事については、本事業で建設する施設の供用開始に関連して、必要となる工事等を予定しています。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
166	要求水準書（案）	21	2	2.1	(3)	9)	3項	環境対策	「工事期間中発生する排水は適切に処理した後、公共用水域へ放流または再利用すること。」と記載ありますが、公共用水域へ放流する場合、放流口について御教示願います。	過去の工事では、塩素混和池出口近傍で放流している事例があります。
167	要求水準書（案）	21	2	2.1	(3)	10)	2項	施工管理	「事業者は南蒲生浄化センター内において市又は事業団が発注したその他の工事の円滑な施工に協力すること」とありますが、予定されている工事内容と時期についてご教示ください。	関連工事については、本事業で建設する施設の供用開始に関連して、必要となる工事等を予定しています。
168	要求水準書（案）	22	2	2.1	(3)	11)		現場事務所等	発電施設の工事に関する現場事務所も市と協議の上汚泥濃縮施設の工事と同様に南蒲生浄化センター内に配置することができるかと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
169	要求水準書（案）	22	2	2.1	(3)	11)		現場事務所等	「発電施設の工事に関する現場事務所等は契約後市と協議すること」とありますが、汚泥濃縮施設、汚泥消化施設の建設用とは別に設置が必要とのことでしょうか。	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設の建設用と兼ねることも可能ですが、詳細については、建設段階の協議によります。
170	要求水準書（案）	23	2	2.1	(3)	15)		耐荷重	耐荷重の項目に「温度応力」とありますが、これは高濃度消化を対象にしたものでしょうか。または、マスコンクリートに対する水和熱も対象としたものでしょうか。	設計上考慮すべき温度応力であれば、全てを対象とします。
171	要求水準書（案）	24	2	2.2	(1)	1)		配置計画	「将来の全量消化計画を考慮し、・・・コンパクトに収めること」とありますが、配置計画では別紙1の事業用地の枠内に全量消化時の施設を全て配置可能にするという理解でよろしいでしょうか。また、配置計画に基づいた必要範囲を最終的な事業用地としてよろしいでしょうか。	前段については、ご理解のとおりです。 後段については、全量消化時の施設配置を考慮しつつ、今回対象となる半量消化時に必要となる施設の範囲が、事業用地となります。
172	要求水準書（案）	24	2	2.2	(2)			計量機器	生汚泥、余剰汚泥の濃度については計測困難と考えますがいかがでしょうか。	要求水準書（案）に示すとおりです。
173	要求水準書（案）	24	2	2.2	(2)			計量機器	計量設備を設ける項目として、「その他市が必要と認める項目」とありますが、本項目は公告資料で具体的に提示いただけるという理解でよろしいでしょうか。	事業者の提案技術内容により、運転管理上必要と認める項目について、計量を求めることを想定しています。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
174	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)		共通及び機械設備	消化汚泥濃度に対する要求水準が定められておりませんが、消化汚泥濃度は日本下水道事業団機械設備標準仕様書第12章脱水設備の性能表に記載されている消化汚泥の濃度範囲内とすることでよろしいでしょうか。	消化汚泥濃度に対する要求水準は、定めておりません。ただし、本事業の目的に鑑み、汚泥処理施設のライフサイクルコストの削減に適した技術提案を求めています。
175	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)		汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 共通及び機械設備	補助燃料で「A重油」との指定がありますが、事業者提案とすることは可能でしょうか。	事業者提案とすることを認めます。詳細については、入札説明書等で示します。
176	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)		共通及び機械設備	ガスホルダについて、「乾式低圧ガスホルダとする」とありますが、これは原則として日本下水道事業団標準仕様書（第11章第5節）に準じるとの考え方ででしょうか。	ご理解のとおりです。
177	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)		共通及び機械設備（濃縮方式）	「濃縮方式は、別紙4の汚泥量の変動を考慮した構成とすること」とありますが、表2の計画汚泥量を超過する場合は、濃縮性能や固形物回収率の性能値は、要求水準や事業者が定めた通常時の性能値を満足する必要はないとの理解でよろしいでしょうか。	設計条件は、表2に記載の計画汚泥量としますが、別紙4に示す維持管理データにある、生汚泥・余剰汚泥の受け入れ量の変動を考慮した施設とすることを求めています。 なお、雨天時の影響により汚泥量が著しく変動した場合、通常時の性能値を満足することは求めていません。
178	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)		共通及び機械設備（消化タンク材質）	事業者提案によって、消化タンク本体の構造や材質が異なってくるものと考えますが、内部防食はあくまで防食技術マニュアル等に準じた設計を行うことでよろしいでしょうか。	防食技術マニュアルに準ずるべき場合は、ご理解のとおりです。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
179	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)		共通及び機械設備（消化汚泥性状）	<p>要求水準書（案）では、消化汚泥の遵守すべき性状に対する記載がございませんが、今回施設後段の既設汚泥脱水設備、汚泥焼却施設の運用に大きな影響を及ぼすため重要な要素と考えます。</p> <p>これより、今回準拠対象基準・仕様である「事業団機械設備標準仕様書 第12章 汚泥脱水設備」の既設脱水機にあたる「遠心脱水機（標準型・高効率型）の性能値」表に示す供給汚泥性状が消化汚泥の遵守すべき性状と考えてよろしいでしょうか。</p>	No.174の回答を参照下さい。
180	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)		共通及び機械設備（消化汚泥性状）	<p>事業者の提案する消化汚泥の性状により、今回施設後段の既設汚泥脱水設備、汚泥焼却施設のランニングコスト（ユーティリティ費、点検修繕費等）に大きな影響を及ぼすことが想定されます。これらの費用の増減についても、今回の事業者提案の対象となるのでしょうか。</p> <p>また、実際にこれらの費用が現状より一定の範囲を越えて増加する場合は、事業者負担の対象になるとの理解でよろしいでしょうか。（例えば、増加費用相当の消化ガス買取額の上乗せ等）</p>	事業者の提案範囲については、入札説明書等で示します。
181	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)	1項	濃縮方式	<p>「事業者で提案する濃縮汚泥濃度を満足すること」とありますが、濃度の上限および下限はないものと考えてよろしいでしょうか。</p>	要求水準書（案）P10 1.3 (7) に示す条件を満足する技術の範囲において、濃縮汚泥濃度は事業者提案によります。
182	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)	1項	濃縮方式	<p>「生汚泥・余剰汚泥の受入れ量の変動を考慮」とありますが、P.13表-2の対象汚泥量に対して考慮すべき変動比と、その変動継続時間をご教示ください。</p>	要求水準書（案）別紙4に示す維持管理データのとおりです。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
183	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)	1項	濃縮方式	「生汚泥・余剰汚泥の受入れ量の変動を考慮」とありますが、「設備能力＝変動を加味した瞬時汚泥量」ということでしょうか。それとも「設備能力＝P.13表-2に示す対象汚泥量」であり、変動量は汚泥濃縮施設および汚泥消化施設にて、日常運転からの設備運用方法の工夫で対応するということでしょうか。	設計条件は、表2に記載の計画汚泥量としますが、別紙4に示す維持管理データにある、生汚泥・余剰汚泥の受け入れ量の変動を考慮した施設とすることを求めています。 また、変動に対する対応は日常運転からの設備運用方法の工夫で対応することも想定しています。
184	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)	3項	脱臭設備	脱臭設備に関して、脱臭設備入口の臭気条件（除去対象物質と濃度ppm）をご提示ください。	臭気の成分等については、下水道施設計画・設計指針と解説及びその他文献を参考に事業者にて設定して下さい。
185	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)	3項	脱臭設備	既設汚泥濃縮施設を対象にした既設脱臭設備の形式と原臭濃度の実績値をご教示ください。	既設脱臭設備は、生物脱臭＋活性炭吸着方式です。原臭濃度の分析は行っていません。
186	要求水準書（案）	25	2	2.2	(3)	1)	5項	消化タンク槽数	消化タンク槽数に関して、「複数槽とするが、詳細は事業者提案」とありますが、「複数槽」は前提で、槽数や各槽容量等が事業者提案との理解でよろしいでしょうか？	ご理解のとおりです。
187	要求水準書（案）	26	2	2	(3)	2)		電気設備	本事業にて新設する特殊電源設備とは、具体的に何をさすのかご教示ください。	本事業にて事業者が建設する受変電設備の操作電源、コントローラ盤等に直流電源・交流無停電電源を供給するための電源設備を想定しています。
188	要求水準書（案）	26	2	2	(3)	3)		土木	「将来の全量消化を考慮した造成」とあります。事業者ごとの提案により造成範囲が当然異なるかと存じますが、一方で2期工事を1期工事と異なる事業者が受注することも当然あり得ると考えます。2期工事を見据えた造成範囲またその費用については、2期工事受注が不確定な状況であることを鑑み1期提案条件の不公平に繋がらないよう条件を一定にすべきと考えますがいかがでしょうか。	造成の範囲は、本事業で建設する施設の範囲に限りませんが、ここでは、将来の全量消化時の工事に配慮することを求めています。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
189	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)			「水処理施設から33.0m以上離隔を取る」とありますが、33.0mと設定した根拠資料をご開示ください。また、新水処理施設から33.0m以上の離隔を取ることで影響を免れると理解でよろしいでしょうか。	水処理施設の沈下に係る委員会での検討により、構造物等の荷重応力分布を概ね45度と仮定した場合、水処理施設の擁壁から約33mまでは水処理施設の沈下等の変動を起こす可能性が高いとされています。また、33m以上の離隔を取った場合でも、変動荷重や粘性土の状態によっては影響すると考えられています。そのため、本事業においては、粘性土の状態等を考慮し、水処理施設への影響に配慮した施設配置とすることや、既設地下構造物の撤去においては周辺構造物への影響が生じないように十分な対策を講じることを求めています。
190	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)			新水処理施設への影響検討は必要ないと考えてよろしいでしょうか。	要求水準書（案）P26 2.2 (3) 3)では、水処理施設への影響を考慮し、施設の配置検討や、地盤沈下に対するモニタリングを実施することを求めています。
191	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)		土木（造成範囲と撤去範囲）	今回の造成範囲は、配置計画に基づいた最終的な事業用地内を対象としますが、既設の撤去範囲はあくまで今回建設する施設本体や杭基礎と干渉する必要最小範囲のみと考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
192	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)		土木（残土の利用）	「場内に仮置きしてある残土の利用を検討すること」とありますが、具体的にどの場所に、どれだけの量が確保されているのでしょうか。また、市の残土利用計画があればご教示ください。	現在、旧水処理施設及びし尿処理施設の南側に、8,000㎡程度仮置きしてありますが、頻繁に増減しているため、工事着手時点の残土量は不明です。そのため、提示できる市の残土利用計画はありません。
193	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)		土木（残土の利用）	仮に残土不足となる場合、市の他工事等からの流用は可能でしょうか。もしくは、撤去に伴うコンクリート廃材を埋め戻し材などとして再利用することを検討することでよろしいでしょうか。	他工事等からの残土の流用可能性は、条件が合えば認められます。コンクリート廃材の再利用は認められません。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
194	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)		土木（水処理施設からの離隔）	「水処理施設から33.0m以上離隔を取る」とありますが、これは単純に既設水処理下部にある沈下層Dc1層から45度の影響範囲を設定しているものと推察されますが、その理解でよろしいでしょうか。	No.189の回答を参照下さい。
195	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)		土木（モニタリング）	水処理施設の地盤沈下にたいするモニタリング方法については事業団と協議し定期的を実施するとありますが、「表9 現在実施しているモニタリング内容」と、同様の内容を実施すると考えてよろしいでしょうか。また工事期間中とは令和9年2月末までと考えてよろしいでしょうか。	モニタリング方法については、ご理解のとおりです。 工事期間中については、工期末を意味しています。
196	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)		土木	現状の土量を確認できる資料をご提示下さい。	No.192の回答を参照下さい。
197	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)		汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 土木	土質調査資料について、圧密試験結果のデータはないとの理解でよろしいでしょうか。 杭の設計で圧密沈下の影響を考慮する必要がある（基本と実施で大きな費用差が生じる）ため、参考に隣の水処理施設の沈下量を提示頂けますでしょうか。	水処理施設における圧密試験結果はありません。参考に汚泥焼却施設における圧密試験結果について、入札説明書等で示します。 水処理施設のこれまでの沈下量については、提示できません。
198	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)	1項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 土木	「計画地盤高は原則T.P.+3.8m」とありますが事業予定地の現況地盤高を御教示ください。	要求水準書（案）別紙1に示すとおりです。
199	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)	1項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 土木	「場内等に仮置きしている残土」について、利用可能な残土は何m3あるでしょうか。また、残土の性状を提示頂けますでしょうか。	No.192の回答を参照下さい。
200	要求水準書（案）	26	2	2.2	(3)	3)	3項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 土木	水処理施設の地盤沈下に対するモニタリング方法について、モニタリング方法は表9に記載の現在行われている方法と同じでよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
201	要求水準書（案）	27	2	2.2	(3)	3)		汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 土木	「津波高さがシミュレーション等により変更となる場合」とありますが、このシミュレーションについて、実施者及び実施時期は決定されていますでしょうか。	現在、宮城県にて実施しており、令和4年度に公表予定です。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
202	要求水準書（案）	27	2	2.2	(3)	3)		土木	基本設計上、工事現場外に搬出する建設発生土の捨て場、運搬距離はどのようにお考えでしょうか、又仮置きする場合の場所は南蒲生浄化センター内と考えてよろしいでしょうか。	工事現場外に搬出する建設発生土の捨て場、運搬距離の想定はありません。 仮置き場所については、ご理解のとおりです。
203	要求水準書（案）	27	2	2.2	(3)	3)	8項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 土木	「汚泥濃縮施設」は耐津波性能1とありますが、汚泥濃縮施設の範囲は、「P3 1.3 基本条件（1）用語の定義 ⑫」となりますでしょうか。脱臭設備も範囲に含まれますでしょうか。	ご理解のとおりです。
204	要求水準書（案）	27	2	2.2	(3)	3)	8項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 土木	津波高さのシミュレーションについて、シミュレーションを行うのは仙台市との理解でよろしいでしょうか。 津波高さに変更になった場合は協議に応じますが、設計変更となる認識でよろしいでしょうか。	津波高さのシミュレーションについては、No.201の回答を参照下さい。 津波高さに変更になった場合は、ご理解のとおりです。
205	要求水準書（案）	27	2	2.2	(3)	3)	10項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 土木	「場内整備の範囲は原則、本事業用地範囲内」とありますが、場内整備範囲は工事を行う施設廻りのみ（事業用地範囲内であっても工事をしないエリアは場内整備範囲外）という認識でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
206	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	3)		仮置き残土	「埋戻し及び盛土には本工事に伴う掘削土砂並びに場内に仮置きされている残土を原則使用する」とありますが、「場内に仮置きされている残土」は本工事によって発生した掘削土砂を仮置きしたものという理解でよろしいでしょうか。 また、本事業開始前から残置されている土砂である場合、残土の汚染可能性はなく、そのまま埋戻し及び盛土に使用可能という理解でよろしいでしょうか。残置量とあわせてご教示下さい。	「場内に仮置きされている残土」は本工事によって発生した掘削土砂とは異なるものです。 残土の使用については、ご理解のとおりです。 残置量については、No.192の回答を参照下さい。
207	要求水準書（案）	2728	2	2.2	(3)	3)4)		土木・建築（津波対策）	汚泥濃縮施設について津波対策のリスク対応レベルの記載がありますが、消化設備についての規定はなく、発電設備と同様に事業者提案による理解でよろしいでしょうか。	汚泥消化施設の津波対策におけるリスク対応レベルは、「リスク保有」を想定しています。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
208	要求水準書（案）	2728	2	2.2	(3)	3)4)		土木・建築（耐津波性能）	汚泥濃縮施設は「耐津波性能1」として「対策水位+10.4m以下には開口部を設けない」とありますが、これは維持管理側の意見も踏まえた絶対条件でしょうか。（例_最初沈殿池では津波水位以下に防水扉付きの出入口あり）	要求水準書（案）に示すとおりです。
209	要求水準書（案）	2728	2	2.2	(3)	3)4)		土木・建築（津波高さ）	「津波シミュレーション等により変更となる場合」とあるが、現時点でシミュレーションを実施中か、実施予定なのか状況をご教示ください。	No.201の回答を参照下さい。
210	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	4)		建築	電気室、機械室の他、作業員控室、便所・洗面所、機材倉庫、書類倉庫について管理棟の基幹事業の交付対象範囲とありますが、「交付対象範囲」とは具体的にどのような基準でしょうか。	詳細については、「下水道事業の手引（国土交通省水管理・国土保全局下水道部監修）」をご確認下さい。
211	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	4)		建築	重力濃縮設備を提案する場合には既設同様に屋外設置とカバーとしてもよろしいですか？	事業者提案によります。
212	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	4)		建築	消化ガス脱硫・貯留設備・余剰ガス燃焼装置については屋外設置としてよろしいですか？	No.215の回答を参照下さい。
213	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	4)		建築	建築施設の必要諸室について、管理棟の基幹事業の交付対象範囲とありますが、電気室および機械室以外の各室の必要面積についてご教示ください。	事業者の提案技術内容により、運転管理上必要となる維持管理要員が異なるため、必要面積の提示はできません。 作業員控室、便所・洗面所、書類倉庫については、維持管理体制・頻度を考慮して必要規模を提案して下さい。 機材倉庫については、提案技術内容を考慮し必要規模を提案して下さい。
214	要求水準書（案）	28	2	2	(3)	4)		建築に関する要求水準	「.建築施設は将来の全量消化を考慮し、増床可能とする等、将来計画を考慮した構造とすること。」と記載があります。これは全量消化時の機器なども設置可能なようなスペースを確保するとするという理解でよろしいですか？	今回建設する建屋において、全量消化時の機器増設スペースを確保する必要はありませんが、将来、増床等により増設が可能となるように、配慮して下さい。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
215	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	4)	5項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 建築	「汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設」で必要となる設備（汚泥ポンプ類、破砕機、熱交換器、電気盤等）はRC造りの建屋内への設置とありますが、（ ）内に記載の設備以外は、各社任意との理解で宜しいでしょうか（寸法上、消化タンク、ガスホルダ、脱硫設備、余剰ガス燃焼設備は屋内設置対象外と考えます）。また、逆に、主要機器である汚泥濃縮機は建屋内に設置することで間違いはないでしょうか。	ご理解のとおりです。 維持管理性を考慮し、設備は建屋内に設置することを基本としますが、寸法上、建屋内に配置することが不経済となる設備については、屋外設置も認められます。
216	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	4)	6項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 建築	「建築施設の必要諸室について、管理棟の基幹事業の交付対象範囲において設けること」とありますが、作業員控室や洗面所、便所、機材倉庫、書類倉庫等が必要になるとのことでしょうか。本工事範囲においては運転員の常駐はないため、不要と考えております。必要な場合は必要室、面積、数量を提示願います。また「管理等の基幹事業の交付対象範囲」とはどのような意味でしょうか。	No.213の回答を参照下さい。 「管理等の基幹事業の交付対象範囲」については、「下水道事業の手引（国土交通省水管理・国土保全局下水道部監修）」をご確認下さい。
217	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	4)	12項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 建築	し尿・浄化槽汚泥の受入槽を単独で儲ける場合、受入槽及び受入槽より、汚泥濃縮・汚泥消化施設への搬送ポンプは、耐津波性能1の対象外であり、屋内設置対象外との理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
218	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	4)	12項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 建築	砂ろ過水を受水するための水槽及び砂ろ過水を各所に供給する機器は、耐津波性能1の対象外であり、屋内設置対象外との理解でよろしいでしょうか。	津波被害によって、砂ろ過水の供給が停止した場合でも、汚泥濃縮施設の津波対策におけるリスク対応レベル「リスク回避」を満足できる場合は、ご理解のとおりです。
219	要求水準書（案）	28	2	2.2	(3)	4)	15項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 建築	建築施設に関して、「将来の全量消化を考慮し、増床可能とする等」とありますが、半量消化時の建築物の増床（一体）に限定される主旨ではなく、例えば、別棟を設ける計画でもよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。ただし、全量消化時の維持管理性に配慮した施設配置計画として下さい。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
220	要求水準書（案）	29	2	2.2	(3)	4)	25項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 建築	外部建具はガラリも含めて全てをSUSとする理解でよろしいでしょうか。ガラリについてはアルミ製でもよろしいでしょうか。 また、SUS製建具の仕上はHLでよろしいでしょうか。 耐候性塗料を使用するのは、鉄鋼面、亜鉛メッキ鋼面、コンクリート面のみとしてよろしいでしょうか。	外部建具はSUSを原則としますが、サッシ類・ガラリについてはアルミ製も認められます。SUS製建具は耐候性塗料仕上げとします。 耐候性塗料を使用するのは、SUS面、鉄鋼面、亜鉛メッキ鋼面、コンクリート面を想定しています。
221	要求水準書（案）	29	2	2.2	(3)	4)	29項	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 建築	燃料タンクはV類として設計するとありますが、土木基準のレベル2検討も必要なタンクでしょうか。	レベル2地震動に対する対応は不要です。
222	要求水準書（案）	30	2	2.2	(3)	5)	②	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 建築機械設備	「大便器には、温水洗浄便座を設置すること」とありますが、本工事範囲においてトイレを当該施設へ配置が必要ということでしょうか。本工事範囲においては運転員の常駐はないため、不要と考えております。	要求水準書（案）に示すとおり、便所・洗面所の設置を求めています。
223	要求水準書（案）	30	2	2.2	(3)	5)	③	汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設に関する要求水準 建築電気設備	想定される光害の対象物をご教示ください。	具体的に想定する対象物はありません。外灯の設置が、過剰または不要な光とならないよう配慮を求めていることを意図しています。
224	要求水準書（案）	30	2	2.2	(4)			発電施設に関する要求水準	「発電設備」について規定がありますが、「発電設備」とは具体的にどの設備が該当しますでしょうか。ご教示願います。	要求水準書（案）P3 1.3 (1) ⑭に定義する「発電施設」を意図しています。
225	要求水準書（案）	30	2	2.2	(4)			発電施設に関する要求水準	「修繕等により発電設備が停止する場合であっても、発生消化ガスを受入れし、有効利用可能な設備構成」とあります。この「有効利用」とは、消化タンク加温用の目的以外の廃熱利用提案を検討してもよい、という理解でしょうか。	本事業のうち、「消化ガス利活用事業」の範囲内で、本事業用地内に収まる提案であれば認められます。
226	要求水準書（案）	30	2	2.2	(4)			発電施設に関する要求水準	電力会社の連携点までは直線4.9kmと想定、と記載されていますが、接続点を具体的にご教示願います。	具体的な接続点は、事業者にて発電箇所を決定した後に、電力会社と協議となります。東北電力ネットワークの事前協議の回答が直線4.9kmになります。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
227	要求水準書（案）	31	2	2.2	(4)			発電施設から電力会社への連携点	「発電施設から電力会社の連携点までは直線距離約4.9kmと想定されている～」との記載がありますが、連携点は浄化センター外も含まれると推察します。本内容は、現状の東北電力殿との事前相談の結果であり、事業者決定後、電力会社と事業者が協議を行い、現在指定されている連携点（4.9km）から浄化センター近傍までの電路構築の費用を工事負担金として事業者負担となると理解してよろしいでしょうか。	原則はご理解のとおりです。 連携点の詳細、工事負担金等については、事業者自らが行う電力会社との協議によります。
228	要求水準書（案）	31	2	2.2	(4)			事業用地の区分	「発電施設の事業用地は、汚泥消化施設と用地を明確に区分できるようにすること。」との記載がありますが、設備等の配置が汚泥消化施設と発電施設で明確に分かれていれば良く、用地境界にフェンス等の設置は不要という理解でよろしいでしょうか。	用地区分を明確にするため、発電施設についてはフェンスを設置して下さい。また、施錠による管理を行うようにして下さい。
229	要求水準書（案）	31	2	2.2	(5)			消化ガス量	市から事業者へ提供可能な消化ガス量は「4,686,300m ³ /年」、市から提供を保証する消化ガス量は「4,161,000m ³ /年」と記載いただいておりますが、各々の算出根拠についてご教示願います。	要求水準書（案）表2に示す汚泥量に基づく固形物量（濃縮施設での回収率考慮）と、消化ガス発生倍率（2021年実施のメタン発酵試験結果より）を乗じて消化ガス発生量を算出し、さらに濃縮汚泥固形物量及び有機分の変動実績（要求水準書（案）別紙4参照）から年間変動比を考慮して、年間の消化ガス量を算出しています。
230	要求水準書（案）	31	2	2.2	(5)			消化ガス量	「津波被害等の不可抗力により汚泥消化機能が停止した場合、市は消化ガスの供給を停止する」とあります。仮に不可抗力発生時に ・汚泥消化施設が機能不全に陥り ・発電施設が発電可能な状況 となった場合、消化ガス買取単価での損失補填が不可能となることが想定されます。その場合のリスク分担について具体的対応想定がありましたらご教示願います。	詳細については、入札説明書等で示します。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
231	要求水準書（案）	31	2	2.2	(4)		8項	発電施設に関する要求水準	「見学者に対するバリアフリーに配慮」とありますが、「バリアフリー法」および「仙台市ひとにやさしいまちづくり条例」に基づいた整備が必要でしょうか。車椅子用の駐車場や点字ブロック等、発電施設にのみ必要でしょうか。 発電施設の近傍まで車で寄り付けられるようになっていけばよいでしょうか。 適用する場合、適用範囲を明記してください。	発電施設を対象に、車椅子を利用する見学者へ配慮することを想定しています。
232	要求水準書（案）	31	2	2.2	(6)			消化ガス性状	シロキサン濃度の分析結果がありましたら、ご教示ください。	シロキサン濃度の分析結果はありません。
233	要求水準書（案）	31	2	2.2	(6)			消化ガス性状	南蒲生浄化センターの汚泥を用いたメタン発酵試験結果に関して、発酵試験条件（消化温度等）、消化ガス発生量原単位、消化率をご教示願います。	メタン発酵試験結果をデータで貸与します。
234	要求水準書（案）	31	2	2	(5)			消化ガス量	提供可能消化ガス量（4,686,300Nm ³ /年）および提供保証消化ガス量（4,161,000Nm ³ /年）の算出根拠（TS、VS/TS、消化率、VS分解量あたりの消化ガス転化量等）をご教示ください。	No.229の回答を参照下さい。
235	要求水準書（案）	31	2	2	(5)			消化ガス量	提供可能消化ガス量（4,686,300Nm ³ /年）および提供保証消化ガス量（4,161,000Nm ³ /年）は全量消化の場合でしょうか。 本値が全量消化の場合、半量消化時の消化ガス量の提示をお願いいたします。	半量消化時の消化ガス量です。
236	要求水準書（案）	32	2	2.2	(7)			温室効果ガス排出量	温室効果ガス排出量基準値：年間1,500ton-CO ₂ の設定根拠についてご教示ください。	要求水準書（案）P32 2.2（7）に示す温室効果ガス排出量の算出方法に基づき、想定する複数の汚泥処理フローについて算出を行った上で設定しています。
237	要求水準書（案）	32	2	2.3	(1)			試験及び総合試運転	「試験及び総合試運転で必要となる汚泥は、市より支給（無償）する。」とありますが、消化槽立上げ用に近隣の下水汚泥消化施設の消化汚泥を提供して頂けるという理解で宜しいでしょうか。	No.82の回答を参照下さい。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
238	要求水準書（案）	34	2	2.3	(6)	1)		総合試運転 汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設	「実負荷運転は、1日の規定量を上回る消化ガスが発生した時点で完了」とありますが、「1日の規定量」とは具体的にどの数値になりますでしょうか。	No.239の回答を参照下さい。
239	要求水準書（案）	34	2	2.3	(6)	1)		総合試運転	「汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設の実負荷運転は、1日の規定量を上回る消化ガスが発生した時点で完了する」とありますが、この規定量は本事業の設計業務で、事業者が検討、計算した消化ガス量と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
240	要求水準書（案）	36	3	3.2	(2)			ユーティリティ等の調達管理	発電施設の水道水を必要とする場合は、市水道局より別途上水管の引き込み管を行うこととありますが、汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設のための水道水は別紙7-11より既設上水管より分岐することとなっております。発電施設での水道水の使用量は温水管系統の補給水などで微小であるため、汚泥濃縮施設及び汚泥消化施設と同様に場内配管から分岐（使用量は発電設備は単独で管理）することは可能でしょうか。不可能な場合は、分岐位置をご教示ください。	発電施設で使用する上水管の分岐について、場内配管からの分岐は認められません。 分岐位置は、仙台市水道局が公表する水道配管管理図を参照下さい。
241	要求水準書（案）	39	3	3.2	(11)				「…基礎・杭を含めて原形復旧し…」とありますが、仮に地盤改良を行った場合の改良体は、原形復旧すべき対象になりますでしょうか。	地盤改良を行った場合の改良体は、原形復旧の対象外と考えます。
242	要求水準書（案）		別紙1						工事車両の通路や資材置き場等、汚泥処理施設整備の施工時に一時的に使用する箇所は、別紙1に示される本事業用地の範囲に含まれておりますでしょうか。また追加で必要な範囲については無償提供可能でしょうか。	原則はご理解のとおりです。 詳細については、契約後、事業団との協議によります。
243	要求水準書（案）		別紙4	別紙4-23				別紙4-23：維持管理データ	雨天時の重力濃縮汚泥引抜量、脱水機処理量のデータをご提供いただくことは可能でしょうか。 (雨天時に生汚泥引抜量を増加させていますが、濃縮設備からの引抜汚泥量も増加変動させていますでしょうか。脱水機投入汚泥量も雨天時は増加されていますでしょうか。)	提供可能です。詳細については、入札説明書等で示します。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
244	要求水準書（案）		別紙4	別紙4-23				別紙4-23：維持管理データ	雨天時の生汚泥引抜量は晴天時の約2倍となっておりますが、雨天時は生汚泥引抜ポンプの運転台数を1台から2台に変更しているとの理解で宜しいでしょうか。	ご理解のとおりです。
245	要求水準書（案）		別紙4					維持管理データ	生汚泥、余剰汚泥の月別の汚泥濃度データをご提供願います。	要求水準書（案）別紙4に示す汚泥量と固形物量のデータから算出願います。
246	要求水準書（案）		別紙5					固形物収支図（洗煙排水について）	別紙5の固形物収支図の「洗煙排水」は既設1～3号焼却炉分のみだと思われませんが、今回事業では今後稼働予定の4号焼却炉からの想定量・想定水質を見込む必要があると思われしますので、想定値をご教示ください。また、現状の焼却炉排水量（月別）と排水管路のわかる資料をご提供願います。	4号焼却炉からの排水量は、約2,400m ³ /日を想定しています。水質については、2021年10月に実施した試験結果では、水温約70℃、pH6程度、SS2mg/l程度、BOD8mg/l程度です。既設排水管は、汚泥焼却施設側地下管廊を通じて、水管橋を介し、既設水処理施設へ返水されています。詳細については、今後、現地確認の機会を設けますので、現地確認時にご確認下さい。
247	要求水準書（案）		別紙6					流入水量・汚泥量の将来予測値	別紙6に記載されている汚泥量予測値と要求水準書（案）P31 消化ガス量数値との関係をご教示願います。	No.229の回答を参照下さい。
248	要求水準書（案）		別紙7					責任分界点図 7-1	レベル（高さ）が不明の為ご教示ください。責任分界点以降、既設汚泥濃縮槽入口までの既設配管敷設レベルがわかる断面図をご提示ください。	詳細については、入札説明書等で示します。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
249	要求水準書（案）		別紙7					責任分界点図 7-2	レベル（高さ）が不明の為ご教示ください。電気管廊～橋台までの既設配管敷設レベルがわかる断面図をご提示ください。	詳細については、入札説明書等で示します。
250	要求水準書（案）		別紙7					責任分界点図 7-2～7-9	電気管廊内及び汚泥処理棟内の濃縮汚泥移送管、消化汚泥移送管付設に関しては、既存の配管ラックを使用可能との理解で宜しいでしょうか。今回用に請負者にて配管サポートの設置が必要な場合、既存のサポートや配管ラック位置が分かる図面をご提示願います。	既存配管サポートの使用については、事業者提案によります。今後、現地確認の機会を設けますので、現地確認時にご確認下さい。
251	要求水準書（案）		別紙7					責任分界点図 7-10	レベル（高さ）が不明の為ご教示ください。責任分界点となる既設配管敷設レベルがわかる断面図をご提示ください。	詳細については、入札説明書等で示します。
252	要求水準書（案）		別紙7					責任分界点図 7-11	レベル（高さ）が不明の為ご教示ください。責任分界点となる既設配管敷設レベルがわかる断面図をご提示ください。	断面図はありませんが、現地確認にて、GL-300mm程度であることを確認しています。
253	要求水準書（案）		別紙7	別紙7-12				責任分界点図	本事業での接続箇所において、高圧ケーブルを接続するにあたり停電作業が必要と考えます。停電時間は、何時間程度まで可能でしょうか。また、停電作業に伴う設備停止作業は本事業範囲外と考えてよろしいでしょうか。	接続箇所は無電圧であるため、労働安全衛生法等に則った対策をした上で、無停電作業が可能と考えます。ただし、事業者が停電作業を希望する際には、接続時の1時間程度、停電に協力可能です。この際の既設負荷の養生等は本事業の範囲外です。 なお、本事業での施工に伴う、施工計画書立案や設備停止の調整作業は事業者の責任において実施して下さい。
254	要求水準書（案）		別紙7	別紙7-12				責任分界点図	今回既設受変電設備から、本事業で設置する濃縮設備の受変電設備へ給電する目的で2フィーダ使用しますが、フィーダの名称変更や接続する設備の容量に伴い、既設受変電設備のハード改造（CT比変更、保護協調の見直し）や中央監視設備のソフト改造が必要になると考えます。既設改造は本事象の範囲外と考えてよろしいでしょうか。	既設受変電設備のハード改造は、本事業（汚泥処理施設整備事業）の所掌範囲としますが、中央監視設備のソフト改造については、別途工事とします。
255	要求水準書（案）		別紙8	別紙8-1				既設構造物資料	既設構造物資料8を参照して、杭配置計画・検討などを行いますが、実際に現場着手した際に、既設構造が想定していた位置と相違する場合は、改めて協議し、設計変更の対象と考えてよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
256	要求水準書（案）		別紙8	別紙8-2					本事業用地の境界を跨いで既設構造物が残置されています。事業用地内だけの撤去が不可能な場合、事業用地外を使用することは問題ないでしょうか。またその数量については設計変更の対象となるのでしょうか。	本事業で建設する施設の配置は、本事業用地内に限られます。ただし、施設建設上撤去が必要な場合は、事業用地外の既設構造物撤去も認められます。なお、その際に使用する事業用地外の用地も事業用地とします。 また、その数量については、事業者の予見可能性の有無で判断されます。
257	要求水準書（案）		別紙8	別紙8-4				管理棟残置杭配置状況	「残置杭深さは旧管理棟のGLから」とありますが、旧管理棟のGLは計画地盤高さT.P.3.8mから±何mのレベルか提示願います。 また旧管理棟の「残置杭配置状況」以外の管理棟構造図についても提示願います。	旧管理棟の築造工事図面より、旧管理棟設計GLはT.P.4.0mと想定されます。 旧管理棟の構造図については、データで貸与します。
258	要求水準書（案）		別紙8	別紙8-7				消化槽残置物状況	残置杭の杭伏せ図を御提供願います。	開示可能な資料はありません。
259	要求水準書（案）		別紙8	別紙8-11				し尿曝気槽沈殿池・沈殿槽・2次処理ポンプ室残置物状況	残置杭は無しとの理解で宜しいでしょうか。 残置杭がある場合、杭伏せ図を御提供願います。	ご理解のとおりです。
260	要求水準書（案）		別紙8	別紙8-12				汚泥貯留槽残置物状況	残置杭の杭伏せ図を御提供願います。	開示可能な資料はありません。
261	要求水準書（案）		別紙8	別紙8-13				総合廃液井残置物状況	B1FおよびB2Fについて、内部は埋め戻しされているのかご教示願います。	総合廃液井残置物内部の埋め戻しは行われておりません。
262	要求水準書（案）		別紙8	別紙8-14				総合廃液井残置物状況	B1FおよびB2Fについて、内部は埋め戻しされているのかご教示願います。	総合廃液井残置物内部の埋め戻しは行われておりません。
263	要求水準書（案）		別紙8	別紙8-15				総合廃液井残置物状況	B1FおよびB2Fについて、内部は埋め戻しされているのかご教示願います。	総合廃液井残置物内部の埋め戻しは行われておりません。
264	要望							図面	図面類のCADデータのご提供をお願いします。	提供可能なデータは提供します。詳細については、入札説明書等で示します。

■【南蒲生】実施方針等に関する質問回答

No.	資料名	頁	章	節	細節	項	目	タイトル	質問事項	質問回答
265	その他								最初沈殿池1,2系、最初沈殿池3,4系の図面および配筋図を御提供願います。	既設竣工図はデータで貸与します。
266	その他								各構造物のCADデータがあれば、御提供願います。	No.264の回答を参照下さい。
267	その他								本事業における設計・建設費の上限額は、入札公告において公表されますでしょうか。	公表の予定はありません。